



株式会社 オプトラ

2026年12月期1Q(1~3月)の連結決算説明会

2026年12月期1Qの連結概要と次期ガイダンス

2026年5月13日

将来の見通しに関する記述



□ 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた」対応について

当社は「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた」対応方針として、中期経営目標において「親会社株主に帰属する当期純利益率15%以上」、「ROE(自己資本利益率)10%以上」、「連結配当性向30%以上」、などを定めています。キャッシュ・アロケーションは株主価値の向上にむけて、安定配当と機動的な自己株式取得を行う想定をしています。持続的な成長を見据え、研究開発、設備投資、事業提携やM&Aなどを戦略的に実施する計画。

当社は1999年8月に光学薄膜成膜装置企業として創業しました。光通信事業領域のDWDM(高密度波長分割多重)用光部品向けの蒸着装置を祖業として、スマートフォン、自動車や光通信関連の蒸着装置やスパッタ装置など光学薄膜成膜装置で事業を拡大させています。2026年からは第2次創業として、成膜製品事業の軌道化により、光学薄膜成膜企業に業容を拡大し、今後のシリコンフォトニクス事業立ち上げも考慮して、光電融合企業に進化させる計画。

□ 将来の見通しや東証株価指数(TOPIX)改革の対応について

本資料には、「将来の見通しに関する記述」が含まれています。この記述には、当社の事業と市場における予想される成長と傾向、業界の見通しと需要要因、当社の投資と成長戦略、新製品と新技術の開発、現在および今後の事業見通しに関するものが含まれます。今後、さまざまな外部要因・内部要因の変化により、予想・計画見通しと大きく異なる可能性があります。更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

また、日本取引所グループ(JPX)は2024年9月に東証株価指数(TOPIX)の新たな改革案を公表し、2028年7月までに段階的に採用銘柄数を絞り込む予定にしています。選定基準は継続基準において、年間売買回転率0.14以上と、浮動株時価総額の累積比率の上位97位以内、を同時に満たすことが必要になります。当社は選定基準に該当するように対応を進めております。

□ 為替リスク、相互関税や半導体・原油の価格上昇の対応について

当社の主力製品である製造装置の輸出売上高は、米ドル建ての依存度(7割程度)が高いことから、米ドルの為替変動の影響を受けます。製造原価は、中華圏生産の依存度が高いことから(主力工場は埼玉県鶴ヶ島本社、中国上海工場など)、中国元の変動影響を受けます。業績見通しの為替前提は、過去の実績を踏まえて想定し、為替変動影響の軽減を目指しています。

輸出先は中華圏の依存度が高いものの、最終需要先は米国圏を中心に世界的に広がっています。相互関税の影響に対応して、生産・開発体制としてインド、日本、ベトナム、中華圏などでの拠点拡充を計画。2026年12月期の為替前提は148円/ドル、22円/元。営業利益感応度(年換算)は1円/ドルの円高で▲1.5億円、0.1円/元の円高で+1億円の影響があります。半導体・原油の価格上昇は直接的な影響が軽微ですが、間接的な影響を注視しています。

2026年12月期1Qの連結概要と次期ガイダンス

受注高、業績と株価バリュエーション



図表1: 受注高、業績及び1株当たり指標、株価バリュエーション

決算期	受注高		受注残高		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主当期純利益		EPS	DPS	PER	PBR	株価	営業利益率	ROE
	百万円	前年比%	百万円	百万円	前年比%	百万円	前年比%	百万円	前年比%	百万円	前年比%	百万円	前年比%	円	円	倍	倍	期末、円	%
年間																			
2017/12	52,527	252.5	44,170	33,386	124.0	7,327	207.9	7,095	249.5	4,815	228.3	134.6	40.00	21.3	5.18	2,860	21.9	29.0	
2018/12	39,820	-24.2	39,228	44,763	34.1	10,690	45.9	10,993	54.9	7,746	60.9	187.6	55.00	9.0	2.48	1,680	23.9	30.6	
2019/12	36,062	-9.4	32,468	42,822	-4.3	10,879	1.8	11,031	0.3	9,102	17.5	216.7	60.00	13.9	3.67	3,015	25.4	29.0	
2020/12	28,606	-20.7	23,583	37,491	-12.4	8,628	-20.7	8,610	-21.9	6,797	-25.3	159.1	50.00	13.3	2.29	2,109	23.0	18.3	
2021/12	35,435	23.9	28,126	30,892	-17.6	7,025	-18.6	7,901	-8.2	6,330	-6.9	146.8	50.00	16.2	2.23	2,376	22.7	14.8	
2022/12	41,553	17.3	36,947	34,304	11.0	7,449	6.0	8,763	10.9	6,890	8.8	159.0	50.00	14.1	1.87	2,242	21.7	14.0	
2023/12	20,316	-51.1	24,219	36,807	7.3	9,752	30.9	6,051	-30.9	4,632	-32.8	106.1	50.00	15.4	1.27	1,631	26.5	8.5	
2024/12	28,841	42.0	24,159	32,406	-12.0	6,570	-32.6	8,191	35.4	6,351	37.1	145.3	52.00	13.0	1.35	1,888	20.3	11.0	
2025/12	41,210	42.9	31,286	33,861	4.5	3,335	-49.2	3,203	-60.9	2,960	-53.4	74.4	54.00	25.7	1.33	1,910	9.8	5.1	
2026/12 予	38,200	-7.3	38,200	12.8	6,200	85.9	7,400	131.1	5,600	89.2	140.8	56.00	34.2	2.91	4,820	16.2	-		
半期															年換算				
2023/06	12,413	-46.6	31,670	20,925	54.9	6,662	102.3	4,264	-4.6	3,471	18.9	79.7	0.00	15.2	1.91	2,423	31.8	13.1	
2023/12	7,904	-56.8	24,219	15,882	-23.6	3,089	-25.7	1,788	-58.4	1,161	-70.8	26.6	50.00	30.7	1.27	1,631	19.5	4.3	
2024/06	14,920	20.2	21,659	16,678	-20.3	3,942	-40.8	4,417	3.6	3,173	-8.6	72.4	26.00	13.9	1.45	2,020	23.6	10.9	
2024/12	13,922	76.1	24,159	15,728	-1.0	2,628	-14.9	3,774	111.1	3,178	173.7	72.7	26.00	13.0	1.35	1,888	16.7	11.1	
2025/06	17,493	17.2	26,114	13,850	-17.0	1,108	-71.9	1,112	-74.8	1,106	-65.2	27.0	27.00	30.2	1.24	1,633	8.0	3.9	
2025/12	23,717	70.4	31,286	20,011	27.2	2,227	-15.3	2,090	-44.6	1,854	-41.7	47.4	27.00	20.2	1.33	1,910	11.1	6.7	
四半期															年換算				
2024/03	9,552	10.9	24,058	11,298	24.7	3,965	51.7	4,325	138.3	3,284	134.1	75.0	0.00	6.9	1.54	2,068	35.1	23.7	
2024/06	5,368	41.2	25,979	5,380	-54.6	-23	-	92	-96.2	-110	-	-2.5	26.00	-	1.45	2,020	-0.4	-0.8	
2024/09	6,232	103.0	21,659	8,511	6.3	2,377	24.8	2,549	137.9	2,267	261.1	51.5	0.00	8.6	1.32	1,778	27.9	15.6	
2024/12	7,690	59.1	24,159	7,217	-8.3	251	-78.8	1,225	71.0	911	70.9	21.2	26.00	22.3	1.35	1,888	3.5	6.3	
2025/03	8,645	-9.5	23,954	7,905	-30.0	756	-80.9	740	-82.9	809	-75.4	19.3	0.00	19.7	1.13	1,526	9.6	5.6	
2025/06	8,848	64.8	26,114	5,945	10.5	352	-	372	303.4	296	-	7.7	27.00	53.0	1.24	1,633	5.9	2.1	
2025/09	10,453	67.7	27,211	9,860	15.8	1,727	-27.3	1,475	-42.1	959	-57.7	24.1	0.00	17.3	1.23	1,664	17.5	6.8	
2025/12	13,264	72.5	31,286	10,151	40.7	499	98.7	615	-49.8	895	-1.7	22.5	27.00	21.2	1.33	1,910	4.9	6.2	
2026/03	14,820	71.4	39,878	6,969	-11.8	511	-32.3	287	-61.3	-83	-	-2.1	0.00	-	1.27	2,572	7.3	-0.5	

注: 数値は百万円以下を四捨五入、予は期初計画、受注高は2022/12期以降が実質基準、2021/12期以前は為替影響を除く基準、26/12期欄の株価は5月8日終値、2025/12期為替は149.61円/ドル、20.81円/元、2026/12期前提は148円/ドル、22円/元、営業利益感応度(年換算)は1円/ドルの円高で▲1.5億円、0.1円/元の円高で+1億円

□ 受注高(実質ベース)の2026年12月期1Q及び2Qガイダンス

受注高(実質ベース)は2026年12月期1Q(1~3月期)がAIスマートフォン(スマホ関連)や光通信関連の拡大により、前年比71%増(前四半期比12%増)の148億円と社内計画と比較して40億円以上の過達となり、受注残高が同66%増の399億円(同27%増)まで好転しました。同2Qはスマホ関連や光通信関連が引き続き健闘すると予想されることから、100億円程度を想定しています。

同1Qの内訳はスマホ関連が前年比263%増の69億円、光学部品が光通信関連の増加により同183%増の53億円、半導体光学融合・電子デバイス(半導体・電子関連)が同12%増の9億円、EV/コネクテッドカー(自動車関連)が同83%減の6億円と明暗を分けています。光通信関連の2026年12月期1Qの受注高は、光トランシーバ関連企業からの引き合い増加により、2025年12月期の通期受注高に匹敵する水準を獲得しています。

□ 2026年12月期1Q連結業績と持分法投資損益の概要

2026年12月期1Qは売上高が前年比12%減の70億円、営業利益が同32%減の511百万円、経常利益が同61%減の287百万円、親会社株主に帰属する当期純損失が83百万円。損失の背景は、①装置の検収が概ね想定線ですが、出荷が当初想定以上に多いことから、未検収装置の内部利益が数億円マイナスに影響しています、②浙江晶馳光電科技(晶馳光電、出資比率49%)の当期損失等の影響により、持分法投資損失2億円を計上しています、③内部利益に対する税効果で法人税等調整額が2.9億円増加しています、などです。

持分法投資損益はAIメカテック(出資比率 17.58%)の黒字利益分で晶馳光電の損失分を減殺しましたが、損失計上となりました。晶馳光電は2026年12月期1Qにおいて、当期損失を計上したものの、期初計画より売上高、粗利益率、営業利益、当期利益、いずれも好転しました。製品事業が軌道化する同3Qから同社の業績が黒字好転し、通期では持分法投資利益が予想されます。

□ 2026年12月期1Q末の投資その他の資産と純資産の変動について

投資その他の資産は2025年12月期4Q末 158億円から2026年12月期1Q末 427億円に増加。内訳は投資有価証券が4Q末 42億円から1Q末 332億円に増加し、出資金は 91億円から 69億円に減少。戦略的な出資会社SeeYA Technology(出資比率 3.5%)は、3月25日に中国・科創版(STAR Market)に上場したことで時価評価の影響が顕在化しています。純資産は4Q末 576億円から1Q末 806億円に増加しました(主にその他有価証券評価差額金)。

SeeYA TechnologyはAR/VRデバイス向けマイクロOLEDの最大手企業です。当社の貸借対照表に対するの同社影響は出資金4Q末 20億円、投資有価証券1Q末 287億円。同社の株価(終値)はIPO 22.68円/株、1Q末 35.7円/株、5月8日 46.99円/株。同社株に関する売却制限時期(ロックアップ)は上場後1年です。2025年2月に投資したAIメカテックは投資有価証券に1Q末 33億円として計上、資本業務提携を踏まえて取得価額で評価しています。

受注高および業績とガイダンス



図表2: 受注高、業績及び1株当たり指標・財務指標(単位:百万円、円、%、円/株)

項目	決算期	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12	2026/12 予	2024/12				2025/12				2026/12 1Q	
												1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
受注高		52,527	39,821	36,062	28,606	35,435	43,124	24,080	32,345	40,989			11,136	7,301	4,192	9,716	7,700	8,106	10,956	14,226	15,560
受注高(実質)							41,553	20,316	28,841	41,210			9,552	5,368	6,232	7,690	8,645	8,848	10,453	13,264	14,820
受注残高		44,170	39,228	32,468	23,583	28,126	36,947	24,219	24,159	31,286			24,058	25,979	21,659	24,159	23,954	26,114	27,211	31,286	39,878
売上高		33,386	44,763	42,822	37,491	30,892	34,304	36,807	32,406	33,861	38,200		11,298	5,380	8,511	7,217	7,905	5,945	9,860	10,151	6,969
売上総利益		14,154	17,436	17,697	14,682	13,390	14,948	18,454	14,499	11,440			5,917	2,168	4,094	2,319	2,613	1,947	3,793	3,088	2,337
販売管理費		6,827	6,746	6,818	6,054	6,364	7,499	8,702	7,928	8,106			1,952	2,191	1,717	2,068	1,857	1,595	2,066	2,588	1,825
研究開発費		2,467	3,103	3,173	3,151	3,065	3,410	4,329	3,397	3,802	3,900		908	1,029	657	803	921	863	947	1,071	584
営業利益		7,327	10,690	10,879	8,628	7,025	7,449	9,752	6,570	3,335	6,200		3,965	-23	2,377	251	756	352	1,727	499	511
営業外収益		140	495	299	261	980	1,339	386	1,996	584			462	331	633	1,491	366	178	-16	56	148
営業外費用		372	192	147	280	104	25	4,086	376	716			102	216	462	518	381	158	236	-59	372
経常利益		7,095	10,993	11,031	8,610	7,901	8,763	6,051	8,191	3,203	7,400		4,325	92	2,549	1,225	740	372	1,475	615	287
税引前利益		7,127	10,748	11,488	8,678	8,773	9,405	5,998	8,185	4,221			4,321	92	2,547	1,225	739	368	1,474	1,640	280
法人税等		2,309	3,001	2,386	1,874	2,440	2,512	1,325	1,807	1,375			1,030	165	251	361	-33	108	526	774	381
親会社株主当期純利益		4,815	7,746	9,102	6,797	6,330	6,890	4,632	6,351	2,960	5,600		3,284	-110	2,267	911	809	296	959	895	-83
1株当たり当期純利益		134.6	187.6	216.7	159.1	146.8	159.0	106.1	145.3	73.3	140.8		75.0	-2.6	51.5	21.5	19.3	7.7	24.1	22.2	-2.1
1株当たり配当金		40.0	55.0	60.0	50.0	50.0	50.0	50.0	52.0	54.0	56.0		0.0	26.0	0.0	26.0	0.0	27.0	0.0	27.0	0.0
1株当たり純資産		552.4	677.2	821.1	919.0	1,066.0	1,199.1	1,285.3	1,403.3	1,439.5			1,343.9	1,388.5	1,347.0	1,403.3	1,345.6	1,321.5	1,348.0	1,439.5	2,019.0
円/株(期末)		113.16	111.00	109.56	103.50	115.02	132.70	141.83	158.18	156.56	148.00		151.41	161.07	142.73	158.18	149.52	144.81	148.88	156.56	159.88
円/株(期中平均)		112.61	110.58	109.03	106.76	109.90	131.62	137.97	148.12	149.61	148.00		144.77	147.31	149.45	151.87	152.55	148.40	147.46	154.08	158.68
売上高総利益率		42.4	39.0	41.3	39.2	43.3	43.6	50.1	44.7	33.8			52.4	40.3	48.1	32.1	33.1	32.7	38.5	30.4	33.5
売上高販売管理費率		20.4	15.1	15.9	16.1	20.6	21.9	23.6	24.5	23.9			17.3	40.7	20.2	28.7	23.5	26.8	21.0	25.5	26.2
売上高研究開発費率		7.4	6.9	7.4	8.4	9.9	9.9	11.8	10.5	11.2	10.2		8.0	19.1	7.7	11.1	11.6	14.5	9.6	10.6	8.4
売上高営業利益率		21.9	23.9	25.4	23.0	22.7	21.7	26.5	20.3	9.8	16.2		35.1	-0.4	27.9	3.5	9.6	5.9	17.5	4.9	7.3
売上高経常利益率		21.3	24.6	25.8	23.0	25.6	25.5	16.4	25.3	9.5	19.4		38.3	1.7	29.9	17.0	9.4	6.3	15.0	6.1	4.1
法人税率		32.4	27.9	20.8	21.6	27.8	26.7	22.1	22.1	32.6			23.8	179.3	9.9	29.5	-4.4	29.4	35.7	47.2	136.0
売上高当期純利益率		14.4	17.3	21.3	18.1	20.5	20.1	12.6	19.6	8.7	14.7		29.1	-2.1	26.6	12.6	10.2	5.0	9.7	8.8	-1.2
棚卸資産回転日数		476.5	327.1	220.4	178.4	268.1	385.2	357.7	321.3	279.9			275.0	530.5	347.1	293.7	253.2	351.7	229.4	222.1	407.8
ROE(自己資本利益率)		29.0	30.6	29.0	18.3	14.8	14.0	8.5	11.0	5.1			23.7	-0.8	15.6	6.3	5.6	2.1	6.8	6.2	-0.5
DOE(株主資本配当率)		1.5	5.8	6.5	6.4	4.7	4.1	3.9	5.7	3.8											

注: 会計は日本基準、数値は百万円以下を四捨五入で算出、1株当たり当期純利益は親会社株主に帰属する数値、利益率の前年比%欄は前年比増減、DOEは年間配当総額÷自己資本×100又は配当性向×ROE、ROEは親会社株主に帰属する当期純利益÷平均自己資本×100、棚卸資産回転日数は売上原価基準

貸借対照表およびキャッシュ・フロー計算書



図表3: 貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算書の概要(単位:百万円)

項目	決算期	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12	2024/12				2025/12				2026/12
											1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
資産の部																			
現金及び預金		19,894	15,741	26,970	22,723	32,274	34,923	33,054	32,531	31,442	33,329	32,193	30,967	32,531	29,571	27,784	30,211	31,442	35,676
受取手形・売掛金		3,199	6,417	3,902	9,426	5,627	7,423	4,882	4,355	5,283	3,206	4,353	4,518	4,355	3,540	4,116	4,518	5,283	4,747
貸倒引当金		-181	-420	-351	-344	-387	-550	-604	-595	-220	-504	-541	-489	-595	-569	-235	-234	-220	-267
棚卸資産		25,108	24,487	15,173	11,147	12,855	20,430	17,989	15,763	17,194	16,213	18,670	16,804	15,763	14,687	15,413	15,250	17,194	20,699
原材料及び貯蔵品		4,879	4,339	4,070	3,850	5,804	10,460	8,790	6,449	4,651	9,365	8,363	7,212	6,449	8,437	4,311	4,115	4,651	4,091
仕掛品		20,229	20,148	11,103	7,297	7,051	9,970	9,199	9,314	12,543	6,848	10,306	9,591	9,314	6,249	11,102	11,136	12,543	16,607
流動資産		52,256	48,142	47,194	44,572	53,145	65,401	57,632	54,572	56,776	55,184	57,372	54,410	54,572	49,143	48,826	51,499	56,776	62,794
有形固定資産		2,863	2,843	2,764	3,194	4,527	8,835	11,407	14,152	13,512	11,874	13,450	13,300	14,152	13,273	13,127	13,019	13,512	13,663
無形固定資産		81	66	66	822	677	541	424	210	34	381	339	259	210	148	94	39	34	33
投資その他の資産		1,226	4,593	6,486	5,740	6,326	8,139	9,029	12,505	15,824	9,521	10,322	9,321	12,505	15,113	15,034	15,216	15,824	42,713
投資有価証券		216	803	795	350	350	350	350	431	4,183	350	391	391	431	3,766	3,892	3,898	4,183	33,208
出資金		725	2,224	4,826	4,749	5,237	5,691	6,161	9,044	9,085	6,646	7,263	6,541	9,044	8,440	8,151	8,321	9,085	6,870
資産合計		56,426	55,644	56,509	54,327	64,675	82,916	78,491	81,440	86,146	76,959	81,482	77,289	81,440	77,677	77,081	79,773	86,146	119,202
負債の部																			
支払手形・買掛金		7,303	1,653	2,735	1,703	3,246	4,785	1,284	1,083	4,239	2,326	1,848	1,657	1,083	1,793	2,238	2,343	4,239	3,525
短期有利子負債		9,193	757	510	489	472	414	406	414	410	403	402	402	414	414	413	412	410	407
契約負債		11,327	20,109	13,989	8,922	9,831	19,060	14,743	9,731	11,494	9,441	10,841	9,308	9,731	9,288	11,981	12,859	11,494	18,134
流動負債		32,038	25,923	19,826	13,655	17,057	28,400	19,097	14,766	19,882	14,812	16,895	14,630	14,766	13,753	16,948	18,158	19,882	25,555
繰延税金負債		978	1,251	1,079	642	1,181	1,929	2,021	2,625	3,266	2,174	2,385	2,239	2,625	2,450	2,544	2,769	3,266	7,452
長期有利子負債		433	234	165	81	16	5	8	4,649	4,995	8	6	5	4,649	4,463	4,414	4,616	4,995	5,217
固定負債		1,781	1,659	1,864	1,157	1,535	2,357	2,478	7,672	8,658	2,637	2,777	2,637	7,672	7,338	7,392	7,804	8,658	13,087
純資産		22,607	28,063	34,819	39,515	46,084	52,159	56,916	59,002	57,607	59,510	61,810	60,022	59,002	56,586	52,741	53,811	57,607	80,560
自己資本		22,597	28,052	34,819	39,488	46,070	52,141	56,316	58,689	57,381	58,881	61,114	59,339	58,689	56,363	52,571	53,624	57,381	80,319
連結キャッシュ・フロー																			
税前利益		7,127	10,748	11,488	8,678	8,773	9,405	5,998	8,185	4,221	-	4,413	-	3,772	-	1,107	-	3,114	-
減価償却費		258	252	250	282	484	698	991	1,221	1,201	-	475	-	746	-	628	-	574	-
営業活動によるキャッシュ・フロー		4,696	9,572	16,233	-535	10,686	8,561	3,180	5,050	8,529	-	1,353	-	3,697	-	5,336	-	3,193	-
有形固定資産取得		-1,821	-381	-150	-760	-940	-4,380	-3,116	-3,115	-989	-	-1,505	-	-1,610	-	-361	-	-629	-
投資活動によるキャッシュ・フロー		-2,768	-2,964	-2,432	-1,048	376	-4,396	-3,599	-7,701	257	-	-1,618	-	-6,083	-	-2,288	-	2,544	-
フリーキャッシュ・フロー		1,928	6,608	13,801	-1,583	11,061	4,165	-419	-2,651	8,786	-	-265	-	-2,386	-	3,048	-	5,738	-
自己株式取得		0.0	0.0	-0.1	-0.2	-0.2	-0.1	-0.1	-4,794	-4,188	-	0	-	-4,794	-	-4,188	-	-0.2	-
配当金支払額		-333	-1,633	-2,279	-2,543	-2,145	-2,164	-2,174	-3,334	-2,163	-	-2,190	-	-1,144	-	-1,086	-	-1,077	-
財務活動によるキャッシュ・フロー		12,447	-10,054	-2,359	-2,467	-2,735	-2,173	-2,207	-3,807	-5,384	-	-2,168	-	-1,638	-	-5,174	-	-210	-

注: 数値は百万円以下を四捨五入で算出、受取手形・売掛金は貸倒引当金を控除、有利子負債は借入金とリース債務の合計、契約負債は従来前受金で表記、契約負債とは企業が顧客から前払いで受け取った金額や、サービスの提供前に受け取った対価を指す、自己株式取得は24/12期48億円(1株平均取得価格1,890円)、25/12期42億円(同1,658円)

□ 2026年12月期の通期業績ガイダンスとリスク要因

2026年12月期の連結通期業績は1Qが期初計画に比較して進捗が遅延しましたが、受注高が想定以上であることから、為替148円/ドル、22円/元を前提とする計画を継続します。計画は売上高が前年比13%増の382億円、営業利益が同86%増の62億円、経常利益が同131%増の74億円、親会社株主に帰属する当期純利益が同89%増の56億円。成膜装置のリードタイムが9カ月程度ですが、リスク要因は基幹部品の品不足です。

同1Qは受注高が実質ベース148億円、為替影響を考慮した名目ベースが156億円、売上高が70億円を計上したことから、受注残高が399億円と2022年12月期3Q(492億円)以来の高水準です。上海工場の操業度が上昇していますが、受注高が想定以上に多く、棚卸資産回転日数は前期4Q末に比較して今期1Q末が増加しました。想定以上の受注高に対応する目的で従来以上にカスタマーサポートを強化し、基幹部品の調達も強化する予定です。

□ AIスマートフォン事業領域と細分類の動向について

AIスマートフォン事業領域の受注高はスマートフォンの生産がDRAMなどメモリ価格の上昇による減産や販売の低迷が懸念されるにも関わらず、2026年12月期1Qが前年比263%増の69億円、売上高が同117%増の31億円と増加しました。通期の受注高は期初計画において、前年比横ばいの140億円程度と想定していましたが、1Q進捗率が通期計画比約5割になったことから、2Q以降の進捗状況を踏まえて計画を見直す予定です。

AIスマートフォン事業領域はカメラモジュール、ディスプレイ、筐体などに分類されますが、カメラモジュールの受注高構成比で見ると、2023年12月期通期が5割弱でありましたが、2025年12月期通期には85%に上昇し、2026年12月期1Qが9割弱まで引き上がっています。今後、次世代においてフォルダブルスマートフォンやタブレット需要が増大すれば、この構成比は低下すると予想されます。

□ 光通信事業領域の成長と市場規模について

光通信事業領域の受注高は2026年12月期1Qが光部品部門の6割強を占め、前四半期比約3倍と増加し、概ね2025年12月期の通期水準を獲得しました。売上高も光部品部門の6割強を占有し、前四半期比約5割増と拡大しました。通期の受注高は期初計画において、前年比4割増の50億円程度と想定していましたが、1Q進捗率が通期計画比6割強になったことから、上振れる可能性が高まっています。

米国ハイパースケーラーの設備投資拡大により、光インターコネクト市場規模の予想は2026年3月開催の光通信技術展示会「OFC2026」において、2030年に光トランシーバが500億ドル(従来予想250億ドル)、光電融合がCPO(Co-Packaged Optics)が150億ドル(同50億ドル)、OCS(光回路スイッチ)が40億ドル(同20億ドル)に引き上げられます。光トランシーバの最大手企業の2026年1Q売上高は前年比2.9倍、前四半期比47%増と成長しています。

事業領域別受注高および売上高の詳細



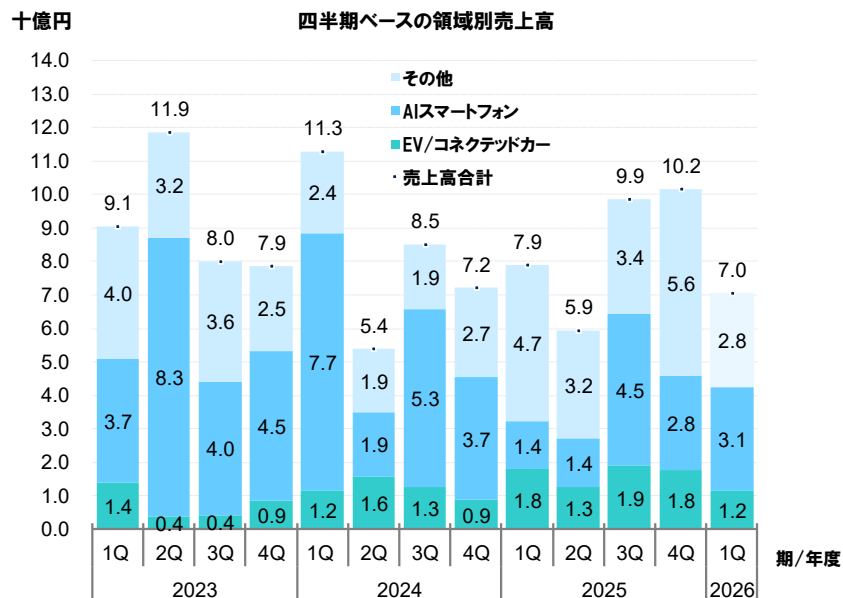
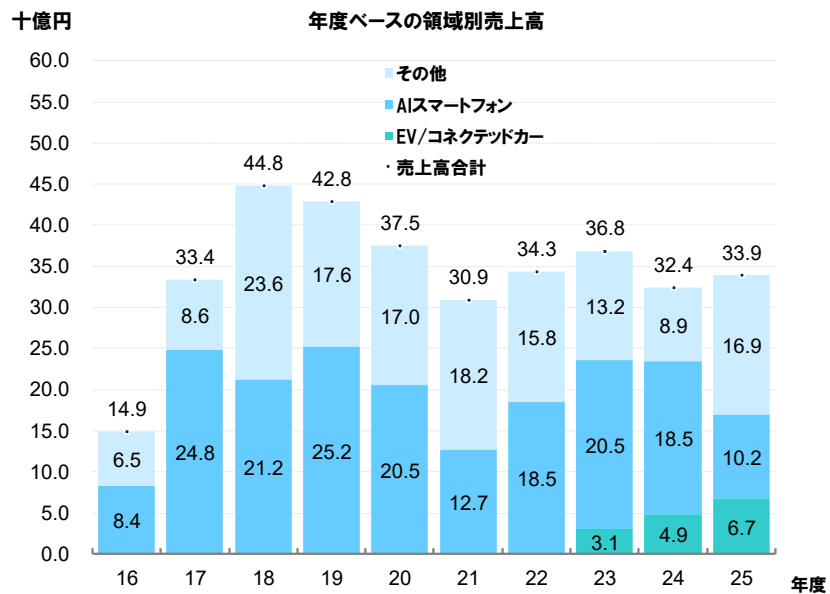
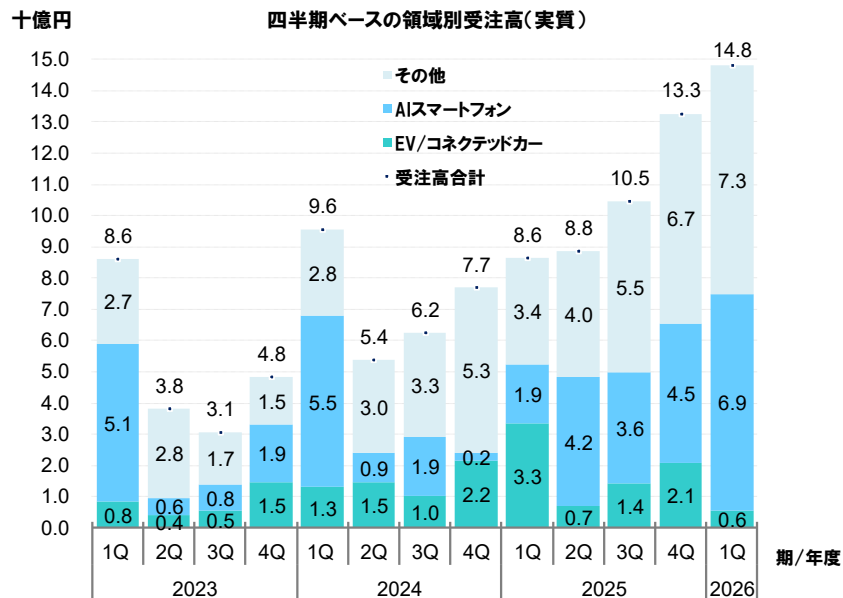
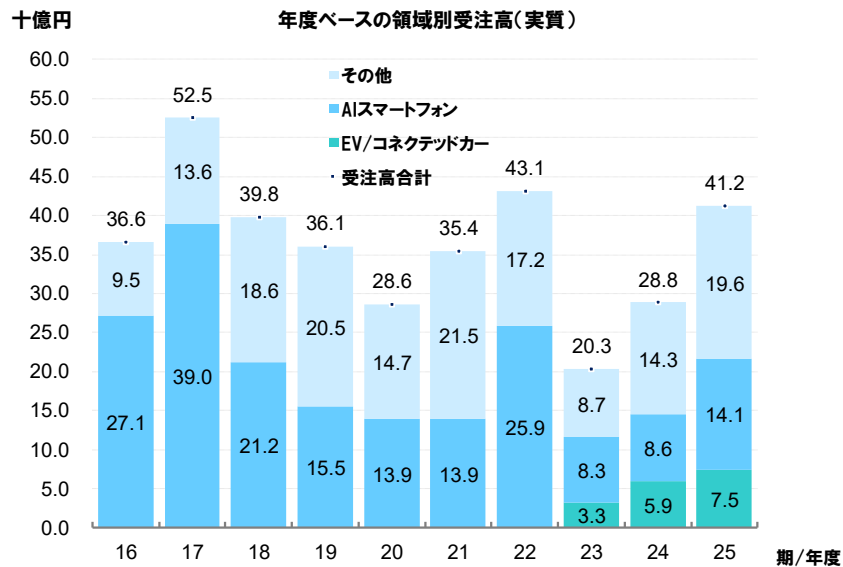
図表4: 事業領域別受注高及び売上高(単位:百万円、円/ドル、%)

項目	決算期	2023/12	2024/12	2025/12	2023/12				2024/12				2025/12				2026/12		
					1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	Q/Q%	YoY%
受注高																			
光学領域		15,973	22,753	33,624	7,386	2,214	2,415	3,958	7,952	3,783	5,056	5,962	7,094	7,626	7,909	10,995	12,716	15.6	79.3
AIスマートフォン		8,305	8,558	14,126	5,053	550	845	1,857	5,487	944	1,896	231	1,906	4,164	3,582	4,474	6,920	54.7	263.1
EV/コネクテッドカー		3,274	5,939	7,514	846	421	544	1,463	1,299	1,452	1,022	2,166	3,337	685	1,410	2,082	562	-73.0	-83.2
光学部品		4,393	8,256	11,985	1,486	1,243	1,026	638	1,165	1,386	2,139	3,566	1,851	2,778	2,917	4,439	5,234	17.9	182.8
半導体光学融合・電子デバイス		1,826	2,785	4,758	455	948	52	371	615	141	950	1,079	838	366	1,835	1,718	935	-45.6	11.5
パーツサービス・他		2,518	3,304	2,828	770	641	602	505	985	1,444	225	649	713	855	710	550	1,169	112.4	64.0
受注高小計		20,316	28,841	41,210	8,610	3,802	3,069	4,835	9,552	5,368	6,232	7,690	8,645	8,848	10,453	13,264	14,820	11.7	71.4
為替・キャンセル影響		3,764	3,504	-221	953	2,283	1,229	-701	1,584	1,933	-2,040	2,026	-945	-742	503	963	741	-23.0	-
受注高合計		24,080	32,345	40,989	9,563	6,085	4,298	4,134	11,136	7,301	4,192	9,716	7,700	8,106	10,956	14,226	15,560	9.4	102.1
ALD装置比率 (%)		7%	10%	2%	6%	0%	7%	16%	24%	4%	0%	3%	0%	5%	2%	2%	1%	-1%	1%
新型装置比率 (%)		23%	39%	42%	11%	29%	22%	39%	40%	28%	31%	51%	49%	46%	30%	43%	10%	-33%	-39%
受注残高		24,219	24,159	31,286	37,447	31,670	27,960	24,219	24,058	25,979	21,659	24,159	23,954	26,114	27,211	31,286	39,878	27.5	66.5
売上高																			
光学領域		31,116	28,523	26,271	7,148	10,694	6,056	7,218	10,243	4,272	7,781	6,227	5,455	4,741	8,487	7,588	6,272	-17.3	15.0
AIスマートフォン		20,489	18,549	10,226	3,690	8,317	3,996	4,486	7,686	1,916	5,289	3,658	1,427	1,445	4,544	2,810	3,094	10.1	116.9
EV/コネクテッドカー		3,069	4,917	6,740	1,392	391	431	854	1,174	1,582	1,273	889	1,793	1,263	1,908	1,776	1,156	-34.9	-35.5
光学部品		7,558	5,056	9,306	2,066	1,986	1,629	1,877	1,383	774	1,219	1,681	2,235	2,033	2,035	3,002	2,023	-32.6	-9.5
半導体光学融合・電子デバイス		3,300	1,261	3,829	1,260	536	1,354	151	233	554	63	411	811	708	618	1,692	285	-83.2	-64.9
パーツサービス・他		2,391	2,622	3,761	655	632	599	505	822	554	667	578	1,639	496	754	871	498	-42.8	-69.6
売上高合計		36,807	32,406	33,861	9,063	11,862	8,009	7,874	11,298	5,380	8,511	7,217	7,905	5,945	9,860	10,151	6,969	-31.3	-11.8
ALD装置比率 (%)		34%	29%	3%	22%	47%	42%	20%	30%	19%	26%	36%	0%	3%	5%	2%	0%	-	-
新型装置比率 (%)		44%	42%	43%	37%	53%	52%	32%	36%	32%	41%	59%	28%	37%	53%	48%	14%	-34%	-14%
売上総利益		18,454	14,499	11,440	4,578	5,954	4,317	3,605	5,917	2,168	4,094	2,319	2,613	1,947	3,793	3,088	2,337	-24.3	-10.6
売上高総利益率 (%)		50.1%	44.7%	33.8%	50.5%	50.2%	53.9%	45.8%	52.4%	40.3%	48.1%	32.1%	33.1%	32.7%	38.5%	30.4%	33.5%	3.1%	0.5%
営業利益		9,752	6,570	3,335	2,614	4,049	1,905	1,184	3,965	-23	2,377	251	756	352	1,727	499	511	2.4	-32.3
売上高営業利益率 (%)		26.5%	20.3%	9.8%	28.8%	34.1%	23.8%	15.0%	35.1%	-0.4%	27.9%	3.5%	9.6%	5.9%	17.5%	4.9%	7.3%	2.4%	-2.2%
円/ドル(期末換算)		141.83	158.18	156.56	133.53	144.99	149.58	141.83	151.41	161.07	142.73	158.18	149.52	144.81	148.88	156.56	159.88	-3.32	-10.36
円/ドル(期中平均)		137.97	148.12	149.61	134.75	134.24	140.93	141.95	144.77	147.31	149.45	151.87	152.55	148.40	147.46	154.08	158.68	-4.60	-6.13

注: 受注高の構成比、ALD比率、新型比率は為替影響を除くベース、為替、利益率、比率の前四半期比及び前年比の欄は増減、AIスマートフォンは主にスマホ用カメラモジュール、EV/コネクテッドカーは自動車用カメラモジュール、光学部品は光通信、半導体光学融合・電子デバイスはAR関連向けの貢献度が高いです

受注高は2026年12月期1Qが7四半期連続で前四半期比で増加

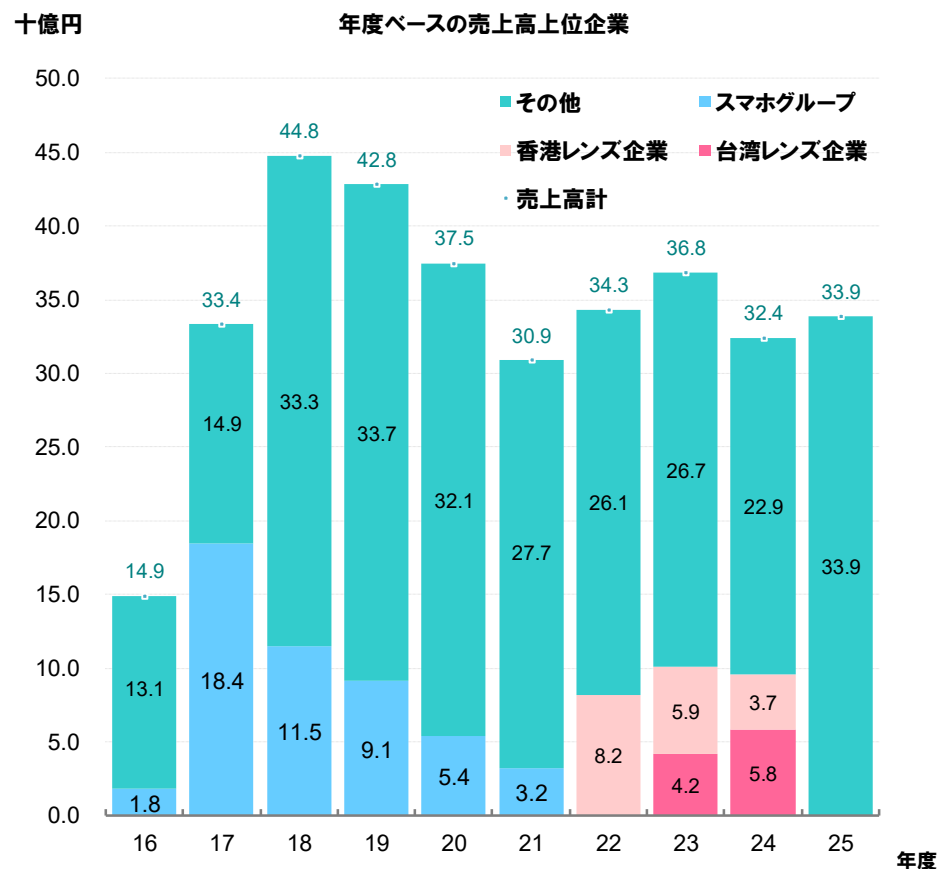
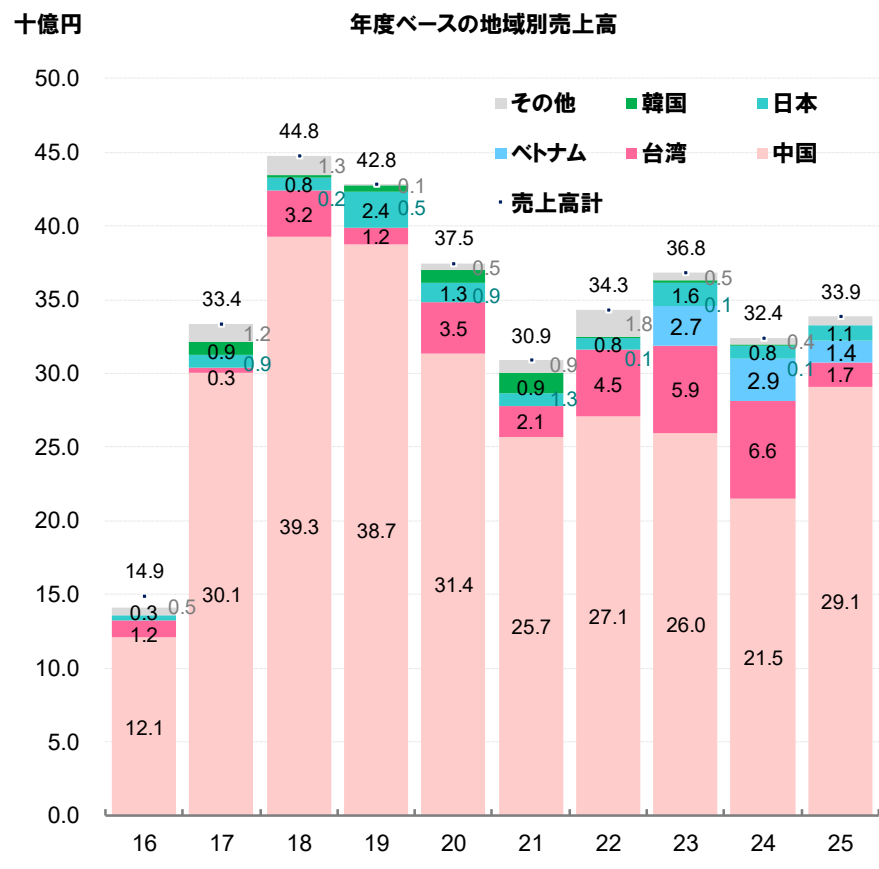
図表5: 事業領域別受注高と売上高



相互関税影響やサプライチェーンの変化によりインドでCS(カスタマーサポート)事業を立ち上げ



図表6: 地域別売上高および売上高上位企業の売上高



注: 売上高上位とは売上高構成比10%以上を示します。事業領域別分類である売上高の光学領域には、AIスマートフォン(主にスマホ用カメラモジュール)、EV/コネクテッドカー(自動車用カメラモジュール向け)、光学部品(ミラーレスカメラ用レンズ、光通信用光部品向け)が含まれ、半導体光学融合領域は光電子、イメージセンサー、空間コンピュータ、電子デバイス領域はグリーンエネルギー、通信デバイス、MEMSデバイス向けを含んでいます。パーツサービス・他は主に消耗品・改造が該当します

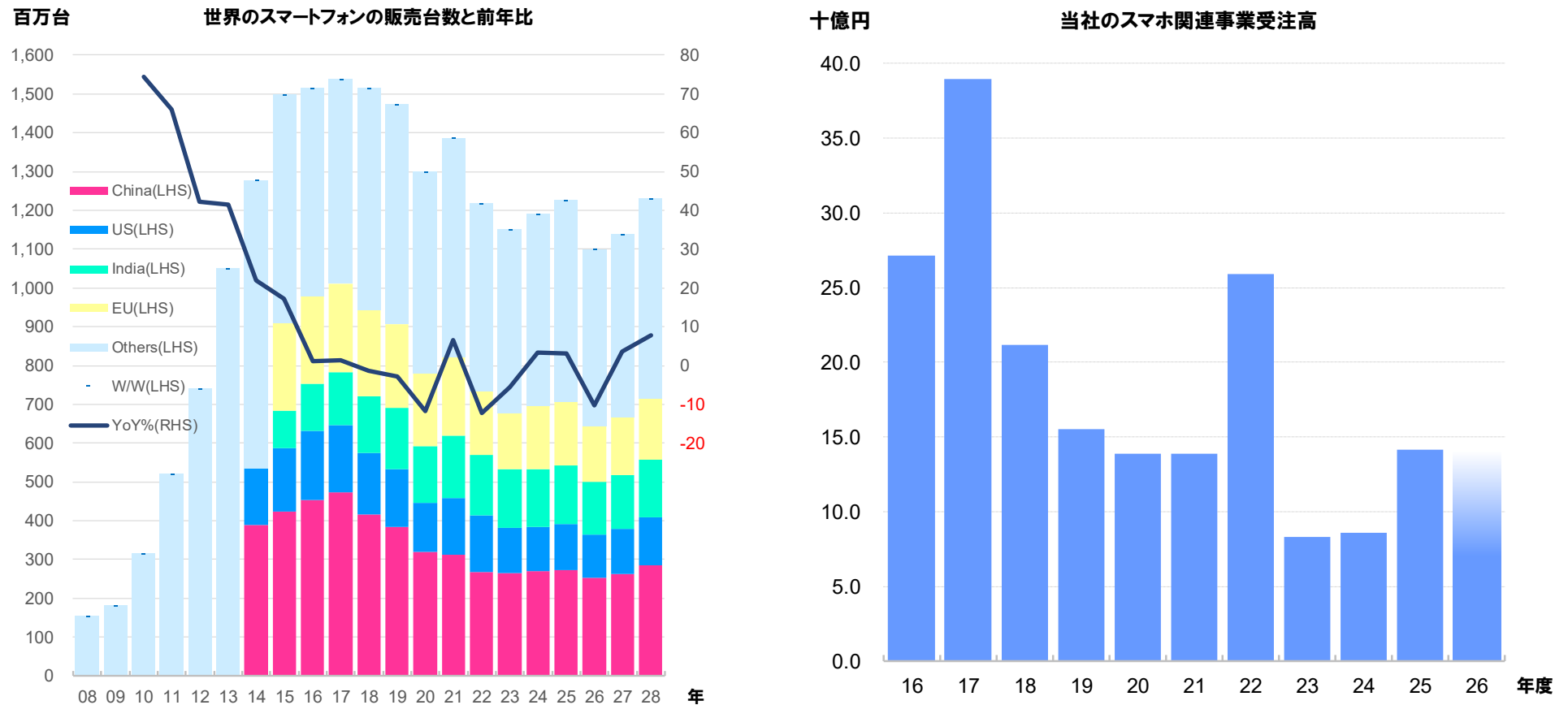
出所: 有価証券報告書

相互関税の影響によりスマホ企業のベトナムサプライチェーン強化が進展する一方、インドへの生産増強が始まっています。インドにおけるスマホ市場は世界最大の人口による需要増大を背景として、スマホ企業のインドにおける生産体制拡大が予想されています。インドの1人当たりGDPが2026年に3,000ドルを超えると想定されることもあり、スマホの購買力が高まり、スマホの高付加価値モデルの販売好調が継続しています。当社はスマホサプライチェーンの変化に対応して成膜装置の販売地域を拡充する予定です。

スマホ市場は廉価版がメモリ価格上昇で減産だが、新カメラ機能に対応する受注高が拡大



図表7:世界のスマートフォン(スマホ)販売台数と当社のスマホ関連事業受注高



出所:弊社作成、予想は市場平均

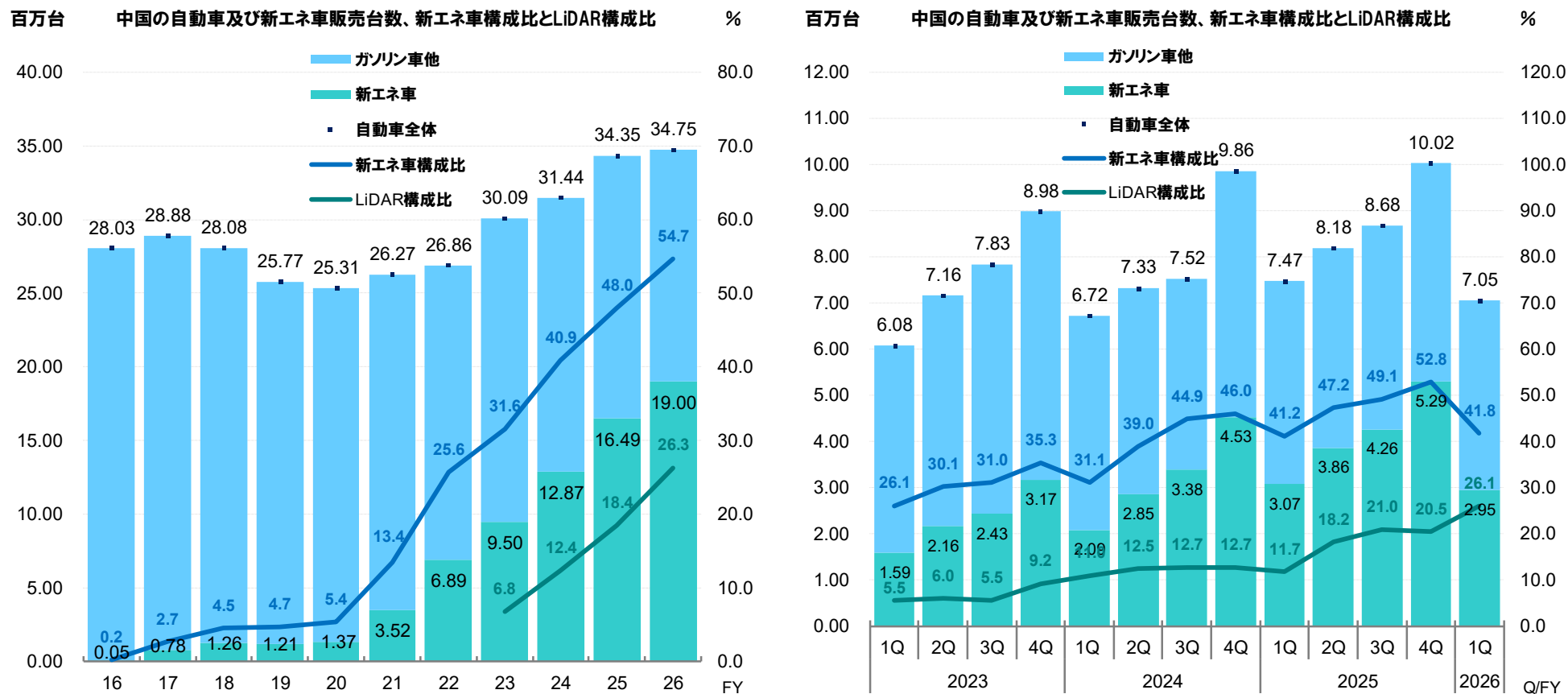
世界のスマホ販売台数の弊社予想は2026年が前年比8.7%の11.2億台でした。同1Qが同4.8%減ですが、メモリ価格上昇での製造コスト増の影響で通年は同10.3%減の11億台に引き下げます。ただ、スマホ企業の売上高はAI機能強化による高付加価値を遡及することで健闘しています。AIスマートフォンの受注高は2026年12月期1Qが前年比263%増の69億円と良好です。通期の受注高は期初計画において、前年比並みの約140億円の想定でしたが、2Q以降の進捗状況を踏まえて計画を見直す予定です。

スマホ市場は販売台数が成熟化する一方、AI機能の発達により高付加価値化の要求が強まっています。当社は浙江水晶光電科技(水晶光電)と共同で出資する浙江晶馳光電科技(晶馳光電)において、光学薄膜成膜製造装置を活用した製品事業を開始しています。晶馳光電の出資比率は水晶光電が51%、当社が49%。晶馳光電は2025年12月期が先行開発投資の影響で当期純損失を計上しました。2026年12月期は製品量産化により、売上高150億円、当期純利益の黒字転換を計画しています。

L2+/L3対応のADAS用LiDARの普及により、≧8MP級CISカメラ構成比が上昇へ



図表8: 中国市場の自動車及び新エネルギー販売台数、新エネ車構成比と新エネ車に占めるADAS用LiDAR構成比



注: 新エネルギー車はバッテリー電気自動車(EV、BEV)、燃料電池電気自動車(FCEV、FCV)とプラグインハイブリッド車(PHEV、PHV)を含める、LiDAR(ライダー: Light Detection And Ranging)はレーザー光を照射して、反射光の情報をもとに対象物までの距離や対象物の形などを計測する技術。LiDAR構成比は新エネ車販売台数に占めるADAS(先進運転支援システム)用LiDAR出荷台数。弊社はADAS用ではCMOSイメージセンサー(CIS)向け成膜装置を提供している。

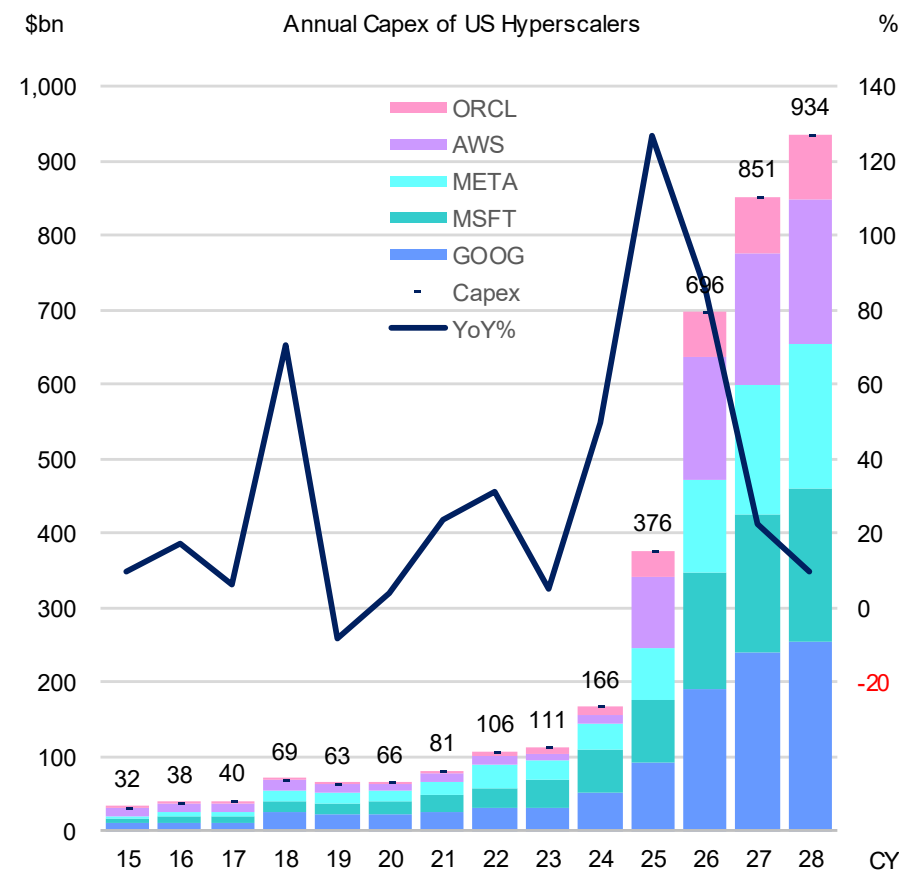
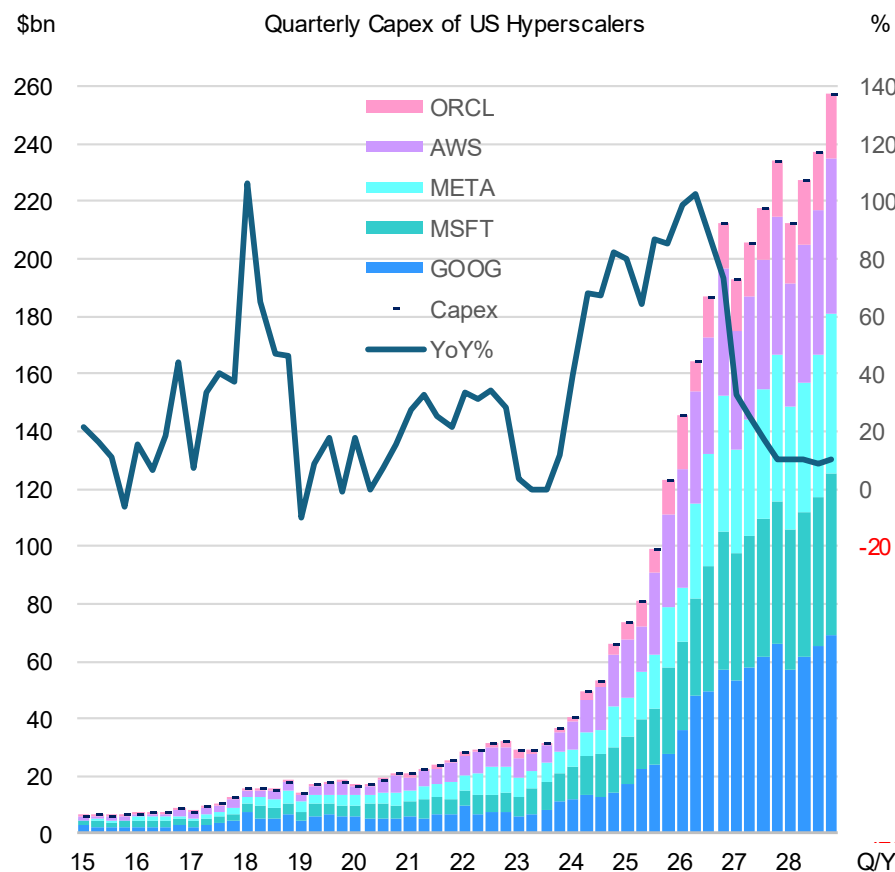
出所: 中国汽車工業協会、LiDAR企業の数値などより弊社作成、2026年2Q以降は当社予想

当社の自動車関連事業の受注高は中国の自動車販売台数の減速を受けて、2026年12月期1Qが前年比83%減の約6億円と低迷しました。通期受注高は期初計画において、下期の自動車販売台数の好転を想定して前年並みの70億円程度を見込みましたが、1Qの進捗が緩慢で厳しい状況にあります。ただ、センサー性能向上を目的にADAS用LiDAR搭載率が上昇すると、8~12MP級CISが増設され、弊社のビジネス機会が増える可能性があります。≧8MPカメラ構成比は2025年10%から2026年20%に上昇を予想。

ハイパースケーラーの設備投資拡大で光通信事業の受注高が増加



図表9: 米国のハイパースケーラーの設備投資



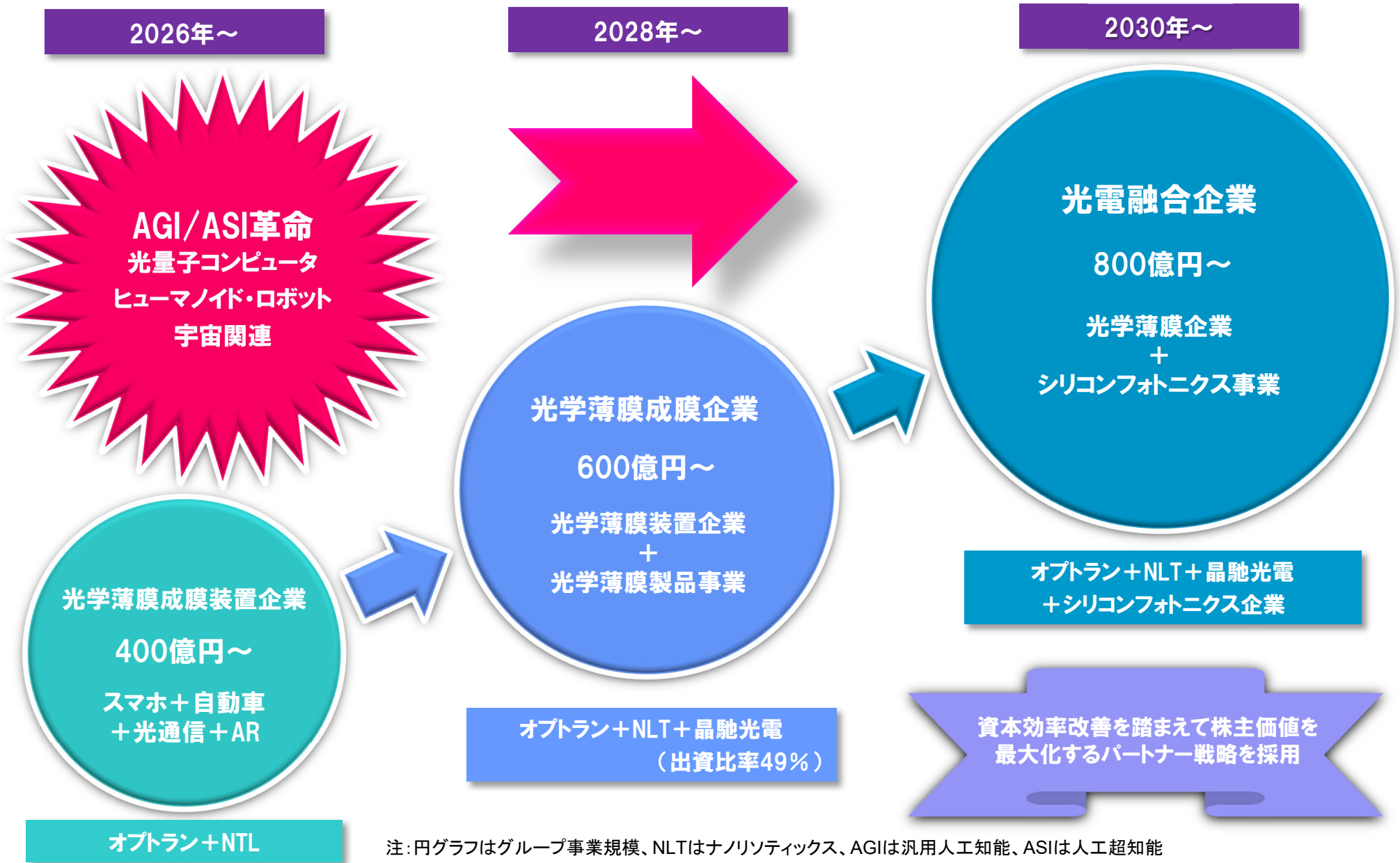
出所: 会社資料より弊社作成、予想は市場平均

米国のハイパースケーラーの設備投資5社合計(市場平均)は2026年が従来、前年比56%増の5,871億ドルと予想されていましたが、同85%増の6,963億ドルに引き上げられ、2027年も同22%増の8,512億ドルが予想されています。光インターフェイスの大手5社売上高合計は2026年1Qが同2倍の63億ドルと推定され、通年が前年比95%増の321億ドル、2027年が同51%増の485億ドルと高成長が期待されています。

光通信事業領域の受注高は2026年12月期1Qが光部品部門の6割強を占め、前四半期比約3倍と増加し、概ね2025年12月期の通期水準を獲得しました。売上高も光部品部門の6割強を占有し、前四半期比約5割増と拡大しました。通期の受注高は期初計画において、前年比4割増の50億円程度と想定していましたが、1Q進捗率が通期計画比6割強になったことから、上振れる可能性が高まっています。

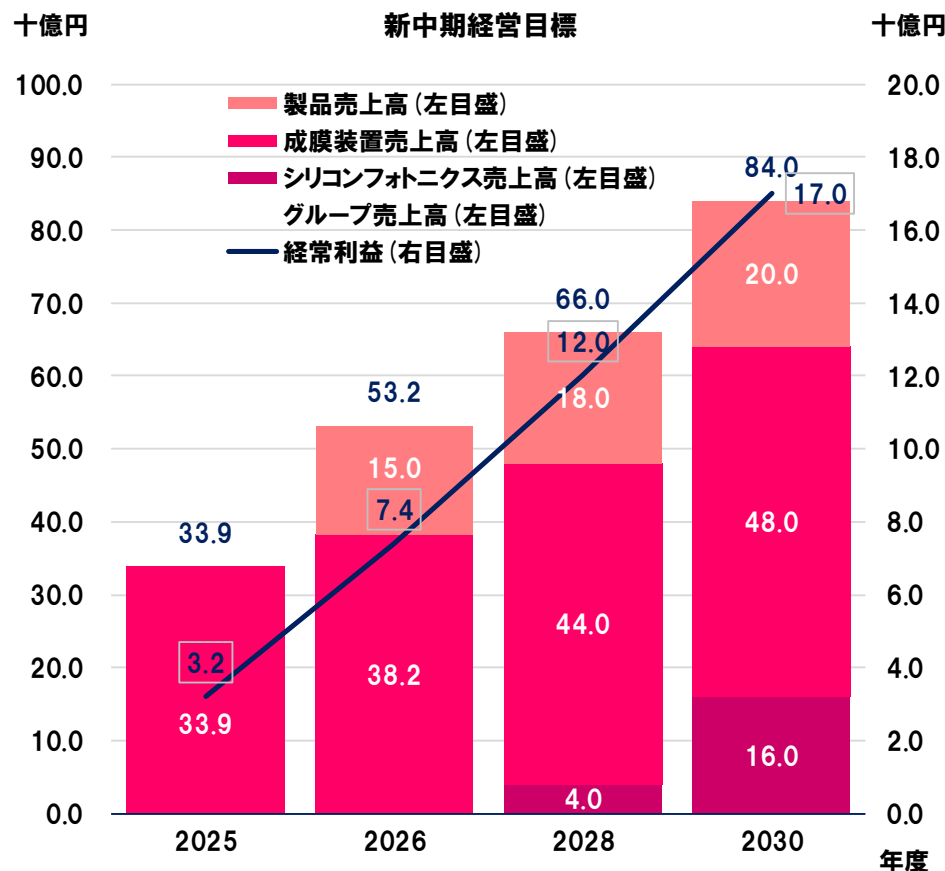
第2次創業が始動、新中期経営目標を策定

図表10: オプトラグループの新中期経営目標



第2次創業が始動、新中期経営目標を策定、最終的には光電融合企業を目指す

図表11: オプトランの新中期経営目標



AGI(汎用人工知能)やASI(人工超知能)の実現に向けて産業構造が現変する予兆がある。ハイパースケーラーはAI産業の急激な成長に対応する目的で、AIデータセンター(DC)への投資を加速化しています。当社は光通信関連のDWDM用光部品向けの蒸着装置が祖業ですが、過去20年はスマホ市場の成長とともに光学薄膜製造装置事業を拡大させてきました。2022年11月のChatGPT3.5の公開を切っ掛けにAI革命が始まり、AI産業はハイパースケーラーのAI・DC投資拡大につれて成長が続いている。

光通信事業はプラガマブル光トランシーバー向け光部品製造に使用される光学薄膜成膜製造装置が主力。AI・DC内ではCWDM、LWDMが主流ですが、DWDMの需要も帯域需要の増大で高まっている。光インターコネクト需要はNPO(Near-Packaged Optics)、CPO(Co-Packaged Optics)、光I/O(Optical I/O)と発展することから、シリコンフォトニクス事業を早急に立ち上げ、光電融合企業にシフトさせる計画。当社の光通信関連事業の2026年12月期受注高は前年比4割増の50億円程度を想定しています。

新中期経営目標は親会社株主に帰属する当期純利益率を15%以上に

図表12: オプトランの新中期経営目標とキャッシュ・アロケーション(25~27年度)

新中期経営目標(単位: 億円、%)、()内は利益率

キャッシュ・アロケーション(25~27年度)

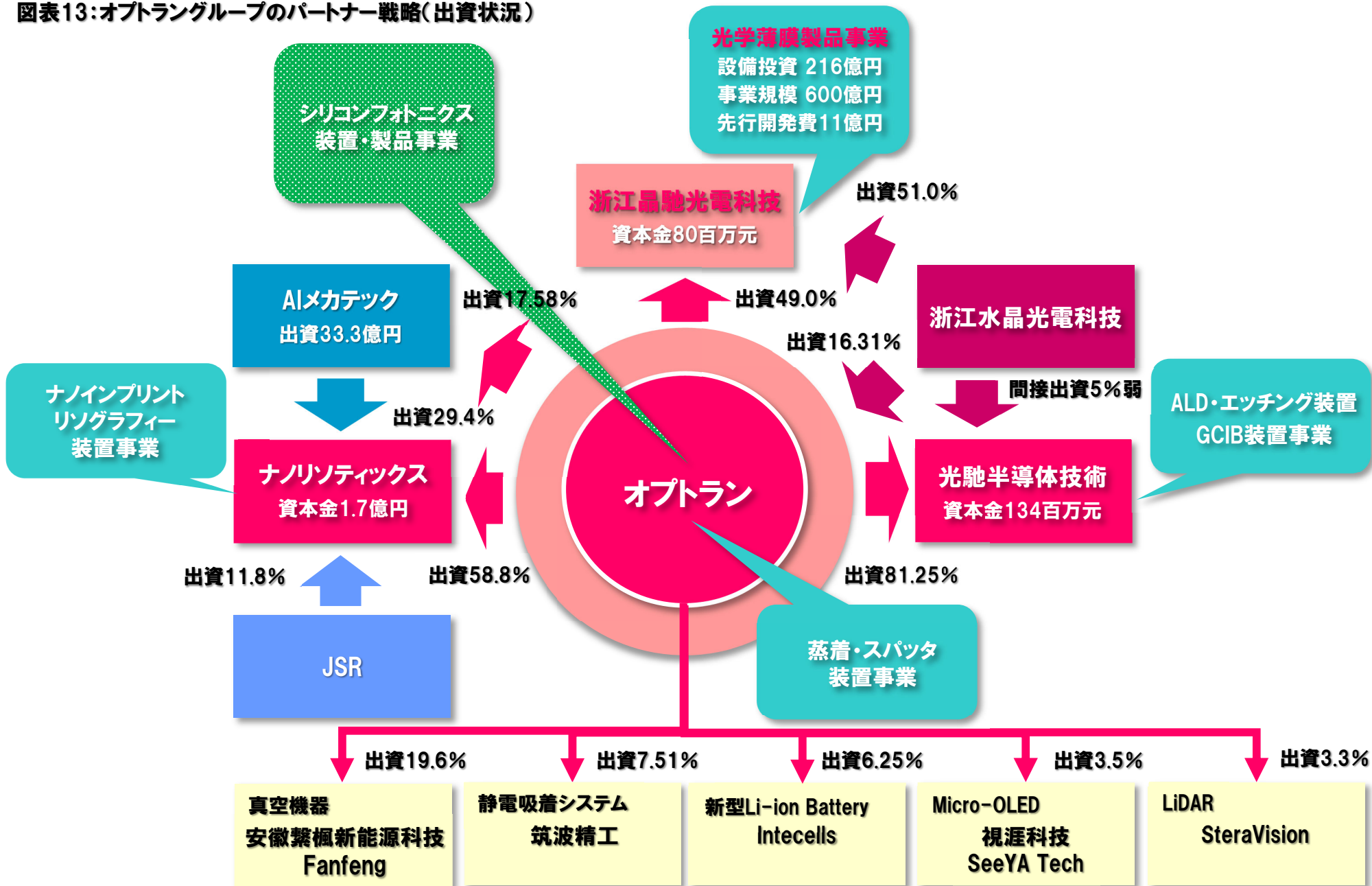
決算期	26/12期	28/12期	30/12期	キャッシュ・イン		キャッシュ・アウト	
グループ売上高【A】+【B】	532	660	840	営業キャッシュ・フロー (研究開発費分除く) 250億円	成長投資	研究開発投資 123億円	
【成膜製品】【A】	150	180	200			戦略投資	設備投資 31億円
連結売上高【B】	382	480	640	手元資金 314億円	株主還元		M&Aなど 120億円
【光学薄膜成膜装置】	382	440	480			運転資金	配当 70億円
【シリコンフォトニクス】	-	40	160	その他(自己株取得等) 41億円	手元資金 170億円		
営業利益	62 (16.2)	100 (20.8)	140 (21.9)				
営業外収支	12	20	30				
経常利益	74 (19.4)	120 (25.0)	170 (26.6)				
親会社株主に帰属する当期純利益	56 (14.7)	88 (18.3)	120 (18.8)				
配当性向	30%以上						
ROE	10%以上						

当社は2025年まで中期経営目標として「営業利益率20%以上」、「ROE(自己資本利益率)10%以上」、「連結配当性向30%以上」としていました。2026年からは技術戦略的なパートナーシップ企業との協業や資本効率の改善を踏まえて、新中期経営目標として「親会社株主に帰属する当期純利益率を15%以上」、「ROE10%以上」、「連結配当性向30%以上」に変更しています。

株主還元は1株当たり年間配当金として、2024年12月期において前年比2円増の52円、2025年12月期が同2円増の54円を想定し、2026年12月期も同2円増の56円の計画しています。自己株式取得は2024年12月期が約48億円、2025年12月期が約41億円を実施しました。総還元性向(配当金額+自己株式取得額)は過去2年連続で100%を超えています。

光学薄膜成膜企業に変革、晶馳光電で光学薄膜成膜装置を活用する製品事業を事業化

図表13: オプトラングループのパートナー戦略(出資状況)



図表14:光学薄膜成膜装置と仕組み

蒸着装置	スパッタリング装置	ALD(原子層堆積)装置
<p>真空中で蒸着材料を熱して蒸発または昇華させ、基板表面に付着させることで薄膜を形成させる装置。風呂場に材料をいれ、真空加熱する様なもの。</p>	<p>真空蒸着における熱の代わりに、ガス分子を薄膜材料にぶつけて薄膜を形成させる装置。スパッタリングの身近な例は古くなった蛍光灯は端が黒い。</p>	<p>原子層レベルで膜厚を制御して平坦で緻密な薄膜を形成する装置。平面基板からアスペクト比(縦横比)の高い立体構造物まで均一に成膜できる。</p>

会社沿革、製品開発、アプリケーション需要と業績

図表15:会社沿革、製品開発、アプリケーション需要と業績(売上高と営業利益率)

